

2025 年度事業計画書

2025年度は、下記の事業を実施してまいります。

事業の区分について

1. 研修事業活動
2. 情報収集提供事業活動
3. 普及啓発事業
4. 研究助成事業
5. 情報発信事業

事業区分ごとの事業活動と内容

1. 研修事業活動

イ) 針灸学セミナー講座

医師及び医療従事者を対象に鍼灸理論講義と実践指導を行う。基礎・実技編と応用・実技編修了者に修了書を交付する。開催地は東京と西日本（名古屋）を隔年で設定。本年度は東京開催とする。企画・実行のため必要であれば小委員会を設置し、計画を決定していく。

講師：形井秀一先生

開催地： 都内

開催日： 2025年7月21日（月・祝）・9月15日（月・祝）

厚生労働省・日本医師会の後援名義を申請予定。

ロ) 中医学研修講座 臨床の部 （協賛 株式会社ツムラ）

医師及び医療従事者を対象に各種疾患について中医診断、方剤決定などを学ぶ。基礎の部10講座・臨床の部10講座で構成。2025年度は「臨床の部」で、8講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な15単位を付与し、修了書を交付する。なお基礎の部と臨床の部を合わせて修了すると35単位の付与となる。

講師：各編中医学に造詣の深い講師のべ10名が担当

開催形式：オンライン

開催日：第3土曜日 時間：PM6時～8時迄

年間10回（8月12月は休講）

資格付与：

- ①公益法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師（1単位/1講座）
- ②全日本鍼灸学会認定指定講座（1単位/1講座）
- ③日本医師会生涯学習認定講座へ登録申請

ハ) 次のステップをめざす中医学研修講座（協賛 クラシエ薬品株式会社）

医師及び医療従事者を対象に、具体的な「臨床例」を通じて生きた中医を身につける。全5講座で構成する。4講座以上の受講者には、認定資格取得に必要な15単位を付与し、修了書を交付する。

講師：第一線で活躍中の中医師及び中医を専門とする医師のべ5名が担当

開催形式：オンライン

開催日：第4土曜日 時間：PM6時～8時迄
2025年4月・6月・7月・9月・10月（年間5回）
厚生労働省の後援名義を申請予定。

資格付与：

- ①公益法人日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師（1単位/1講座）
- ②全日本鍼灸学会認定指定講座（1単位/1講座）
- ③日本医師会生涯学習認定講座へ登録申請

二）医鍼薬地域連携研究会（DAPA）

医師と鍼灸師、その他の医療従事者との間で患者情報共有をめざし、鍼灸師から医師へ、患者紹介受け入れ医療機関を増やしていく。

●症例検討会

開催形式：オンライン

開催日：第2月曜日 時間：PM8時～（1時間半程度）

●医療連携鍼灸師 認定制度

認定基準の講座を全て履修して、受験（レポート提出）・認定（審査）を経た者を、医療連携鍼灸師に認定する。

ホ）中医臨床カンファレンス

症例（医案）を事前に配布し、当日に症例案を参加者各自が持参して中医診断、弁証、治法、処方、服薬等をディスカッションする。参加対象に制限はないが、特に「中医学研修講座」「次のステップをめざす中医学研修講座」「医鍼薬地域連携研究会」の受講者に討議の場を提供することを目的とする。

開催形式：オンライン

開催日：第4月曜日 時間：PM8時～（1時間程度）

講師：長瀬眞彦・高橋博樹・菅沼栄

へ）中国医学実践通信講座

中国医学の基礎理論から診断、治療の実際までを独自のカリキュラムで講座を進める。自宅で好きな時間に学べるメリットがある。講座は、内科系、外科系、全講座の受講コースがあり、各科選択ができる。毎月1回、受講生はレポートを提出し、担当中医医師が解答と評価を加え戻す。

全科7ヶ月間のトレーニングを修了して中国医学をマスターするよう受講生に啓発を行う。中医学基礎の部とのタイアップも推奨する。

改定版を、竹下有先生を中心に、年末までに完成予定。

ト）中医学オンラインセミナー

①中医学の基礎講座の販売

全10講座の動画コンテンツを継続して販売。

②中医学の応用講座の販売

全10講座の動画コンテンツ（現在9講座販売中）を継続して販売。

チ) 鍼灸師向け学術論文の書き方セミナー (提案・準備)

主に鍼灸師を対象に、学術的な視点で自身の施術効果をまとめられるようにすることで、会発表や論文投稿への第一歩を踏み出せるようにし、ひいては弊会において、論文の査読もできるようにする。

開催形式：オンライン

開催日：

講師：

リ) 国際交流中医臨床カンファレンス (提案・準備)

主に韓国や中国の中医師とカンファレンスを行うことで、国外の医療システムや治療法についての最新情報を参加者へ発信、共有することを目的とする。また、グローバルな健康問題やトレンドについての理解を深めることができる。

開催形式：オンライン

開催日：

講師：長瀬眞彦

ヌ) 辰巳洋先生 / 本草薬膳学院 学院長 との連携 (提案・準備)

市民公開講座やセミナーなど企画、共催する。

ル) 日本東洋医学会との認定単位の互換

現在、日本東洋医学会に打診中。5月末の結果報告待ち。

2. 情報収集提供事業

イ) 学術誌「東方医学」発行 (電子版)

広く東方医学に関連する研究成果の発表を主な目的とする。

学術誌「東方医学」は、電子版 (The Japanese Society of Eastern Medicine) で発行。メディカルオンラインや J-STAGE (科学技術情報発信・流通総合システム/国立研究開発法人科学技術振興機構) への登録、主要図書館への寄贈など、学術誌として会員の貴重な研究成果を広く周知させる役割を続けていく。

掲載は、投稿規程内容にもとづき掲載までの過程をチェックし、特に個人情報保護法の規定を厳守しているかどうか審査し、倫理委員会では倫理審査委員会の審査が必要であるか否かを検討・判断し、会員の便宜を図っていくこととする。

ロ) 大会記録の掲載 (電子版)

大会記録を弊会ホームページの会員専用ページに掲載する。

3. 普及啓発事業

イ) 日本東洋医学会ガイダンス

主に医療系学生と鍼灸学生を対象に、医鍼連携の話と、弊会で学べる事を解説。

講師：長瀬眞彦先生、竹下有先生

開催地： オンライン

開催日： 2025年5月19日(月) 19:30~

ロ) 公益目的支出計画実施事業(内閣府認可継続事業)

●第43回日本東方医学学会の開催

会場：順天堂大学

開催日：2025年11月29日(土)・30日(日)

会頭：友岡清秀先生

●市民公開講座の開催

会場：順天堂大学

開催日：2025年11月29日(土)

会頭：友岡清秀先生

4. 研究開発、及び助成事業

2025年度は準備年とする。

5. 情報発信事業

イ) 東方医学会のホームページの更新作業を行う。

- ・ 学術大会、各種セミナー情報の発信と参加申込み
- ・ 一般ユーザー向けに全国の会員施設を紹介

ロ) SNS(フェイスブック、インスタ、X)の活発な運用を行う。

ハ) 「おからだ手帳」運用開始。New!

ニ) 医師60万人登録の「ヒポクラマイナビ」の運用予定。

以上

2025 年度 事業予算について

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

公益法人の会計方式を採用している都合上、本来は管理費に計上される業務委託費（人件費、交通費、賃料、通信運搬費、その他の事務所経費等）を、各事業費の支出の中に比率に応じて分けて計上してあります。そのため、管理費の数字が低くなっていますが、収支自体に間違いはありませんので、ご了承ください。

2025 年度の事業計画に対する収入と支出見込

収入見込 9,200,000 円

支出見込 9,200,000 円

（単位：円）

	収入	支出	備考	仕事比率
会費等	4,000,000		入会・年会費 寄付 基金利息含む	10%
事業費	5,200,000	5,200,000		80%
内訳				
研修事業	4,050,000	2,950,000	鍼灸学セミナー 中医学研修講座 次のステップ 医鍼薬セミナー DAPA カンファレンス 中医臨床カンファレンス 中国医学実践通信講座 中医学オンラインセミナー 鍼灸師向け学術論文の書き方セミナー 国際交流中医臨床カンファレンス	
情報収集提供事業	150,000	150,000	学術誌 1 回発行	
普及啓発事業	1,000,000	2,100,000	日本東方医学会ガイダンス 学術大会 市民公開講座	
研究開発他事業	0	0	BAT 研究など	
情報発信事業	0	0	Web など	
管理費		4,000,000		10%
	9,200,000	9,200,000		